



教育委員会だより

～ Well-being 実現のために～

教育委員会の今が分かる

第33号

発行日: 令和5年9月25日(月)

発行人: さいたま市教育委員会

令和5年度「さいたまエンジン」を始動しました

さいたま市教育委員会では、市立中学生による企業へのビジネス提案を取り入れた探究学習プログラム「さいたまエンジン」を実施しています。

「さいたまエンジン」を実施する背景として、大きな社会の変化があります。1つは、現代社会はデジタル化の促進等による雇用の変化が予想されていることです。もう1つは、多くの就労者が、将来人工知能や機械によって代替できる職業に従事していると指摘されていることです。つまり、終身雇用的要素の残る労働市場において、AIやロボットの導入が進むことにより、多くの職業が奪われる可能性が高くなってきたということです。このような中、新しい時代の担い手となる子どもたちには、職業人として必要なチャレンジ精神、創造性、探究心等の「起業家精神」や情報収集・分析力、判断力、実行力、リーダーシップ、コミュニケーション力等の「起業家的資質・能力」のような、AIに代替えされない資質・能力を身に付けることが求められています。

そこで、さいたま市教育委員会では、中学生が地域・社会や産業界と深く関わり、より主体的に、当事者意識をもってビジネス提案を行う新しいキャリア教育のプログラム「さいたまエンジン」をスタートさせました。生徒たちは、企業や地域の資源や可能性を発見し、このビジネス提案の企画という経験を通じて、自身のキャリア形成において新たな価値と出会います。



実施校 (7校)	参画企業 (14社)
R5 榎竹中学校、片柳中学校、与野南中学校、岩槻中学校、美園南中学校	R5 株式会社佐伯工務店、株式会社三幸製作所、株式会社ジアス、株式会社シンミドウ、株式会社日さく、東京電力パワーグリッド株式会社埼玉支社、ポーライト株式会社、毎日興業株式会社、マレリ株式会社
R4 岸中学校、大宮国際中等教育学校	R4 AGS株式会社、株式会社サイサン、株式会社タムロン、株式会社デサン、武蔵コーポレーション株式会社

企画コーディネート等協力企業 (1社) 株式会社教育と探究社



少子化の現在、未来の地域社会を担う子どもたちを「まんなか」において、社会総がかりで子どもをはぐくむことの重要性が叫ばれる中、地域や保護者に加え企業が参画することの意義はとても大きいものです。企業の皆様には授業を通して生徒のビジネス提案に伴走していただきます。「未来の創り手をはぐくむ」という、強い想いと高い志を持った企業とともに、自分たちの力で社会を変えていこうとする生徒の姿を目指していきます。

Growthでメタバース空間を活用した支援が始まりました

Growthでは、7月18日から、インターネット上の仮想空間であるメタバースを活用した支援を始めました。児童生徒は、メタバース上で「一斉学習」か「個別学習」を選択して取り組むことができます。また、児童生徒どうし、あるいは児童生徒と指導主事や専門職が、チャットや音声で直接コミュニケーションをとることができるようになりました。メタバースの活用により、児童生徒一人ひとりの活動状況が把握しやすくなり、これまで以上に個別最適な支援ができるようになりました。

メタバース空間での児童生徒の1日(例)



アバターどうしを重ねるとお互いのカメラが起動し、会話することができます。チャットでのやりとりを選択する児童生徒もいます。



8月末現在、194名の児童生徒がGrowthに登録し、メタバースを活用しています。メタバース上での会話を楽しむ児童生徒が増えてきました。

国指定史跡「真福寺貝塚」の発掘調査を開始しました

岩槻区にある国指定史跡「真福寺貝塚」での本格的な泥炭層発掘調査を6月12日から開始しました。泥炭層遺跡は漆器や木製品などの貴重な遺物が多く残されている可能性があり、いつか世紀の大発見があるかもしれません。今後の成果にぜひご期待ください。

発掘調査期間: 令和5年6月12日(月曜日)から令和7年3月31日(月曜日)まで(予定)
場所: 岩槻区城南3丁目



ようこそ！教育長室へ

6月28日にさいたま市教育長に就任いたしました竹居秀子でございます。私は、これまで学校教育並びに生涯学習・社会教育に携わり、子どもから大人まで多世代の教育と学びに関わってまいりました。これまでの自身の経験を生かし、本市教育が目指す人間像「世界と向き合い 未来の担い手として 輝き続ける人」を具現化する教育施策を着実に展開してまいります。そこで、3点を施策推進の柱といたしました。「一人ひとりがWell-being(しあわせ)を感じられる学習環境等の充実」「Well-beingを実現するための学びの深化」「Well-beingが循環する仕組みづくり」です。Well-beingとは、身体的・精神的に良い状態であることに加え、自分の身近な場や地域、社会が良い状態にあることを言います。生涯の学びを通して、子どもを含めた全ての市民とまちが輝く未来を見据え、「日本一の教育都市」の実現に向け、誠心誠意取り組んでまいります。どうぞ、よろしくお願いいたします。

編集後記



教育委員会だより第33号はいかがでしたでしょうか。今後も、定期的に各課所室から、教育委員会の今を伝える情報を発信してまいります。
【第33号編集担当】 管理部 教育政策室 048-829-1626